



90th  
Anniversary

# 学校通信

令和4年度 第1号  
令和4年 4月 6日  
練馬区立開進第三小学校  
校長 岡部 良美



## 「よいところみつけ名人になろう」5年目、プラス1

校長 岡部 良美

開三小の校庭は咲き誇る桜の花と若葉、人工芝とのコントラストが映えています。練馬区立開進第三小学校の令和4年度、開校90周年の教育活動が始まりました。

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

一年生123名、二年生124名、三年生125名、四年生120名、五年生114名、そして六年生は126名、全児童732名でスタートをいたしました。元気に登校する子供たちの姿、活気と満面の笑顔を見て、今年も子供一人ひとりが成長できる開三小を創造していこうと意を強くしました。リーダーである六年生が開三小の伝統を繋ぎ、全児童でよさを創り出していく流れが生まれることへの期待を私はもちました。

本校は『児童の学びを豊かにする社会に開かれた教育課程』を掲げ、保護者や地域の皆様によりよい教育活動の実現に向けて協働していただいています。とても心強いです。本校の教育目標は『誇りと自信をもって、よりよい社会の創り手となる子供』の育成です。現在とは大きく変化する2030年・40年代の社会において子供たちが活躍する上で必要な資質や能力を小学校段階で育てることを目指す教育目標です。今年度も生活科と総合的な学習の時間を核として、子供一人ひとりが思いや願い・課題をもち、探究的に学びを進める活動の質的向上を図ります。本校の教職員には、子供にとってよいと思ったことは旬を逃さず行う意欲と能力があります。子供一人ひとりが誇りと自信をもって学び、表現する姿を保護者・地域の皆様に実感していただくとともに、地域に貢献する子供を育成していきます。

本日の始業式・入学式において、私は子供たちに、

「開三小のみんなが1年間頑張ること、ルーブリックは、『よいところみつけ名人になろう』です。この意味は、自分のよいところも、友達のよいところも見付ける名人のことです。みなさんは毎日、どんどんよいところが増えていきます。一日必ず1つ、自分のよいところ、できたこと、頑張ったこと、そして、友達のよいところ、頑張っているところ、やさしくしている・してもらったところなどを見付けましょう。

さらに、この4月からもう一つルーブリックを増やします。それは『ふりかえり名人になろう』です。勉強したことや頑張ったことが自分にとってどんな宝物になったかを振り返る名人です。

と伝えました。このめあては5年目になります。今年からルーブリックとしました。『自分のよいところが分かる』、『友達によりよいところを認めてもらう』ことは、『自分はこれでよい存在なのだ』と思える自信に繋がり、前向きになります。それに伴って、友達など他を受け止め、受け入れる、対話・協力する、自分の主張を相手に譲り相手のために力を尽くす行動にも繋がると考えます。安心して学校生活を送れます。

『よいところみつけ名人』と『ふりかえり名人』を開三小のツー・トップとして、『子供一人ひとりが誇りと自信をもち、自分事で活躍できる学校』を創ります。

11月、生活科・総合の全国大会での授業発表。探究する子供たちを発信します。

※ルーブリックとは…子供と教師が、授業開始時等に一緒に作り、共有する行動目標・到達目標、到達基準